

市民景観まちづくりリーフレット③

景観まちづくりの “はじめの一步”

ひとりで始められる
自宅ではじめられる

わたしにも景観まちづくりはできますか？ ——もちろん、できます！

景観まちづくりは、例えば古い町家や蔵を持っている人だけが取り組むものではありません。ごくふつうの住宅地やマンションに住んでいる人も、商店や飲食店、町工場を営んでいる人も、誰もが景観まちづくりに取り組むことができるのです。景観まちづくりに関連するイベントなどに足を運んでみるのも、立派な“はじめの一步”です。

こんなふう始めてみよう！ 道行く人に自分の家をショーアップ！

自分の家ではじめられる景観まちづくりもいろいろありますが、その代表的なものが、自宅の庭やベランダ、窓辺などを道行く人に楽しんでもらえるようにショーアップして試みる。庭の花壇や鉢植え、ベランダのプランター、カーポート周りなどを道路から美しく見えるように工夫してみたり、通りに向けた出窓をギャラリー風に花や小物で美しく飾ってみる。お店のショーウィンドウなども同じです。これだけで、道路の景観がずいぶん気持ちよくなるものです。



こんなふう始めてみよう！ 景観まちづくり関連のイベントに参加！

景観まちづくりという考え方の理解を深めるには、それらに関連する催事やイベント等を活用する手も効果的です。デパートなどで開催されている美しい景観を収めた写真展などに立ち寄った経験のある人も多いでしょう。そういった催事だけでなく、行政が「景観巡りツアー」や「景観パネル展」などを企画していることも多いので、そういう情報を集めて足を運んでみることもいいきっかけになるでしょう。親子で参加できるイベントも多いみたいです。



こういうイベントがあったりするのです。お住まいのまちにもあるかも知れません。

これが景観まちづくりの第一歩。一見ささやかですが、実は、大いなる一歩なんですよ。

第一歩を踏み出したら、その続きなんかも気になりますよね。例えば、こんなのはいかが？

まちへの一歩！ 仲間と楽しむ共同の庭づくりや公共空間のガーデニング

自分の家の庭をショーアップすることが第一歩だとしたら、次は自分の庭をみんなに公開して楽しんでもらったり（オープンガーデン）、「みんなの庭」のショーアップなんていかがでしょうか。「みんなの庭」、つまり仲間と共同

で管理する庭を多くの人に楽しんでもらったり、歩道の花壇や小広場のコンテナガーデンを演出したりして試みるのです。そういう活動を楽しんでいる人たちがたくさんいます。自分の家からまちへと歩みを進めてみませんか。



◆子ども向けの景観探検講座◆

夏休みの2日間、子どもたちは一人ひとりがカメラを持って、自分の住むまちを探検します。まち並みを歩いたり、気づいた点をマップにしたりすることで、風景の美しさやまちづくりの楽しさを知り、景観を意識する心を育みます。修了者には「ジュニア景観士」の称号が与えられます。[千歳市]



◆都市景観市民フェスタ◆

オープンカフェやパラソルギャラリーなど、市民自らが参加する「都市景観市民フェスタ」。企画に参加した人だけでなく、通りがかりの市民までも巻き込んで、景観について考えるきっかけを生み出しています。フェスタを楽しみながら景観について考えたり学んだりできるのです。[千葉市]



◆わがまち百景バスツアー◆

市内の魅力ある風景を市民から募集し、選定した「百景」を巡るバスツアー。見応え十分です。この他にも、マップの作成・配布、地域の美化活動などの景観まちづくり、子どもたちへの授業で活用など、百景を活かしたまちづくりが盛りだくさん。[宇都宮市]



！ 景観まちづくりの三箇条 まずはこの3項目に気をつけてみましょう。

その一 創意工夫を凝らす

それぞれのアイデアやセンスを活かして、景観まちづくりを楽しむことが大事です。

せっかく景観まちづくりに取り組んでみるのですから、独りよがりにならないよう注意しながら、創意工夫を発揮して、その過程も含めて楽しむ姿勢が大切です。

その二 こつこつ続ける

景観を磨き上げるにはそれなりの時間がかかります。景観まちづくりも“スロー”です。

日々の努力の積み重ねの上に大輪の花が咲く。これは景観まちづくりにも言えることです。気長にこつこつ続けることが、キラリと光る景観まちづくりのポイントです。

その三 周りの人と楽しむ

仲間と景観まちづくり。楽しさも、つくられる風景の魅力も、相乗効果で倍増します。

ひとりで楽しめる景観まちづくりですが、仲間がいればなお楽しい。周りの人たちと一緒にやれば、景観の魅力も相乗効果でどんどん大きくなるのです。

！ 景観まちづくりには、「景観を大切にしたい」という思いを持つ人たちが欠かせません。ひとりひとりが主役となって景観まちづくりを実践することが理想的だと言えるでしょう。

海辺にも山麓にもまちなかにも、わたしたちの身の回りにはたくさんの美しい景観があります。そして、それはつまり、その風景の美しさをつくり、守り、育てている人たち、景観まちづくりを実践している人がたくさんいる、ということなのです。

美しい景観は、その土地や建物の所有者や利用者、住民、観光客、ディベロッパーや施工業者、都市計画家、建築家、造園家などの専門家、行政担当者など、多くの人たちの「美しい景観をつくりたい、大切にしたい」という思いを重ね合わせた上に成り立っています。あなたにも大切にしたい美しい景観や愛おしい生活のシーンがあるでしょう。そこにあなたの思いも重ね合わせてみれば、それがあなたの景観まちづくりの第一歩になるのです。

※景観まちづくり教育ホームページには、本リーフの内容とも関連する『景観まちづくり講座事例集』や『事例に学ぶ景観まちづくり』などの事例集が掲載されています。ぜひ、ホームページもご参照ください（URLは右上に記載してあります）。